

# この子らと

令和4年9月号

## 命輝く子ども

わくわく鹿児島中央認定こども園



ひがん花と赤とんぼ



園長 川口公男

### 夏の終わり

夏の終わりは、暦の上では、8月前半です。立秋は、8月7日頃、9月の季節はすでに「秋」、です。

しかし、依然として30℃以上の真夏日が続いているこのときに、「夏の終わり」を感じさせるものはなんなのでしょうか。

朝晩が涼しくなったと感じるとき 60.3%

秋の味覚が店に並んだとき 27.1%

つくつくぼうしがなきだしたとき 23.5%

大量のあかとんぼを見たとき 27.9%

雲の形が夏の雲から変わってきたとき 17.7%



入道雲



ひつし雲



うるこ雲

本園の子どもたちは、幼子ゆえに常に求めてやまぬ探求心をもっています。生き生きとした感性をもって人生を謳歌しているように思います。

わたくし自身、時には、幼子の感性をもってアンテナを高くして、四季の変化に気付いていきたいと思っています。

「名月や とってけると 泣く子かな」(小林一茶)

「秋の暮れ 道にしゃがんで子がひとり」(高浜虚子)

### 新規採用

9月1日付採用です。女性添乗員

縁あって、本園で勤務してくれることになりました。ご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。

人は、生まれてから死ぬまでの間におよそ3万人の人と出会うと言われていています。その中で学校や職場で3千人、その中でも、親しくなるのが300人程度で、1割に過ぎません。本園を職場として選択してくれたことは、やはり不思議なめぐりあわせだと思います。

「一期一会」、この出会いの一瞬、一瞬を大切にしていきたいと思っています。

### 園外保育(吉野公園)



吉野公園の涼風や見上げる空の雲に立秋を前にして、秋の気配を感じました。子どもたちは、広々とした幼児プール・大型遊具で無心になって遊んでいました。

お弁当を開くときの子どもたちは、どの子どももうれしそうでした。お弁当は、自分だけに贈られる愛のメッセージだと感じるからだと思います。

「おかあさんのおべんとう、あまりにおいしかったので、すこしだけおみやげです」

### お泊り保育(年長)



夕食づくり



朝食づくり



すいかわり

カレーの具づくり  
に挑戦

自ら作ったおにぎり  
で朝食

最後、担任自ら、おみごと!

保護者のいない環境で、がんばって自分に挑戦した子どもたち、お泊り保育での共同生活を通して「仲間意識」「協調性」等を身に付け、独り立ちへ、歩を進めたと感じました。

### 運動会の練習始まる



年中「バルーン」



年長「組体操」

8月からすでに9月以降の運動会等の行事に向けて始動しています。依然としてコロナ禍の渦中ですが、最善を尽くして取り組んでいきたいと思っています。